

roleplaying

1

アセスメント確認
全体振り返り

アセスメント確認：振り返り

効果あり

逆効果または効果なし

教育的機能

- 具体的。
- よく復唱している。
- 事例の内容を確認するため、前後のまとめを伝えている。

- バイジーに対する確認が不十分。
(ペースが早すぎてバイジーが考える時間がない、バイジーの表情を見ていない)
- バイザーがバイジーの先回りをしたり、バイザーが話過ぎたり。
- 指導的、誘導的な発言。
(自分で気づかせるより、具体的に指導したり誘導的に引き出したりしている)

支持的機能

- バイジーがAさんの生活歴の観察からAさんの大事にしていることに気づき、バイザーがそれを受け止めることでバイジーの自信につながった。
- 場を和ませる努力をしていた。

- 指導的な発言や態度が多い。

アセスメント確認：振り返り

それぞれがスーパーバイズの中で得た気づき

スーパーバイザー

- 対人援助職としての技術が足りず、具体的な言葉で示されたことしか見えていない。【支援の中身】
- 面接技術が足りない。【本人の課題】

スーパーバイザー

- バイザーの気づきを期待しているのに気づかない場面でイライラしてしまっただが、場の雰囲気がこなれるにつれてバイザーの力を引き出す質問ができるようになっていった。

(復習) Aさん事例のアセスメント確認において確認すべきポイント

基本的視点

夫は一人で介護を頑張ろうとしている。
本人も家族に迷惑をかけたくない。

夫の介護の状況

- ① 排泄介助: リハビリパンツをはきたくない。
- ② 入浴介助: 入浴は好きなのか? 入浴動作は可能か?
- ③ 食事の準備: 調理は誰が行っているのか? 夫は調理含めて、家事を実行できるか?

下肢筋力の低下

- ① 腰椎圧迫骨折をしたこと(平成21年転倒)により運動機能低下が生じたのか?
- ② 夫は本人に動かないように行動の制止をしているのか?
- ③ 下肢筋力の低下の背景について要因の分析が必要である。
- ④ 本人が動きたいと思う環境(趣味、転倒防止)などの環境のついての背景の理解と今後の検討について

食欲の低下

- ① 口腔内の環境について(義歯、嚥下の確認)
- ② 薬の副作用はあるのか?
- ③ 嗜好の問題(夫が準備する食事の内容・食事の楽しみ、娘さんの関与)

失禁の対応

- ① 布パンツを利用しているが、失禁の程度、頻度などの確認をしておく必要がある。
- ② 夜間の排泄についての状況の確認は必要である。
- ③ 排便の間隔(便秘)などの程度を把握しているか。
- ④ 失禁をした場合、夫の介助に対して、本人は抵抗なく応じるのか？
- ⑤ 失禁を隠すような行動があるか

夫の自己実現

- ① 妻の介護に一日の大半を費やしている。夫の趣味はあるのか？
- ② 夫が継続して行いたい趣味・図書館通いなどの思いはないか？
- ③ 夫の目指していた老後の生活のイメージは？
- ④ 夫が介護の愚痴を言える場所・人はいるのか？

主訴の確認

- ① 本人の主訴は利用者が明確に発言をしたのか？どのような発言をしたのか？
できれば「 」で表記をしたほうがわかりやすい。
- ② 娘さんの主訴や意向の確認をしたことについての記載について

復習

よくできている点(評価できるアセスメント項目)

- 認知症の確定診断及び医師との連携ができている
- 長谷川のスケールなども明記されている
- 認知症の程度及び今後の進行する可能性が予測できる
- 生活歴として、娘さんは養女であるなどの詳細な把握ができている
- 本人の手先が器用などの本人の持つ力が明記されている
- 夫の介護負担のついての理解ができている
- 夫のできている点、できない点(定期受診を忘れるなどの情報を娘さんから得ている)



roleplaying

2

サービス担当者会議後のスーパーバイズ
全体振り返り

サービス担当者会議後のスーパーバイズ：振り返り

効果あり

逆効果または効果なし

教育的機能

■時間の管理やアセスメント等、
良い点をほめていた。

- 教育的・審判的な指摘が多い。
- テンポが速く、威圧的になる場面があった。
- バイジー自身に考えさせる時間を与えた方がよい。

支持的機能

■確認ポイントをチェックしながら
質問していた。

- 導入部分で萎縮させてしまった。
(司会役をねぎらう前に、
進行や着座について批判した)

サービス担当者会議後のスーパーバイズ：振り返り

それぞれがスーパーバイズの中で得た気づき

スーパーバイザー

- 主人の意向を汲み取れず、言葉だけを拾うに終始した。
- サービス担当者会議の手順とファシリテーション技術が身に付いていない。
- 検討内容について準備不足だった。
他の担当者に事前相談すればよかった。

スーパーバイザー

- (会議の場で) バイジーと家族に距離があることに気づいた。
バイジーに基本技術がないことに気づいた。
参加者の表情から会議の質を見て取った。
- 誰と何を連携していけばよいか、バイジーの中で組み立てができていないことに気づいた。
- 質問をしても気づかないので、教育的発言が多くなった。
- 指導は終了後に行い、会議の場では介入しなかった。

ファシリテーション

会議の目標を常に掲げ、参加者による意見の交流を促進し、結論に収束させる技術。

場のデザイン

場を作り、参加者をつなげる

対人的交流

受け止め、引き出す

構造化

かみ合わせ、整理する

合意形成

まとめて、わかちあう

参考文献： 野中 猛 他 「ケア会議の技術」(中央法規、2007)
堀 公俊 「ファシリテーション入門」(日本経済新聞社、2004)



roleplaying

3

同行訪問モニタリング後のスーパーバイズ
全体振り返り

同行訪問モニタリング後のスーパーバイズ：振り返り

効果あり

逆効果または効果なし

教育的機能

■バイザーは自分のモニタリングの癖に気づくことができた。

- ひとつひとつのコメントが長い。
- 伝える項目が多い場合は、資料で渡した方がよい。
- 的を絞って伝えるべきだが、細かく指導してしまった。

支持的機能

- 関係性ができて雰囲気がいい。
- 後半から気づきを促していくようにしていった。

同行訪問モニタリング後のスーパーバイズ：振り返り

それぞれがスーパーバイズの中で得た気づき

スーパーバイザー

- サービスの提供状況だけをモニタリングしていた。アセスメントして、本人や家族のニーズを引き出すべきだと気づいた。
- 思わぬアクシデントから関係性を構築する良い介入の機会だったのに、現場では気づけなかった。

スーパーバイザー

- 気づきを促すスーパービジョンをするためには、相手に合わせての声掛けが必要なことに気づいた。
- バイザーに良かれと思って知識を教え込んだ。
“後半は、頭に入らなかったかもしれない”と、後で反省した。